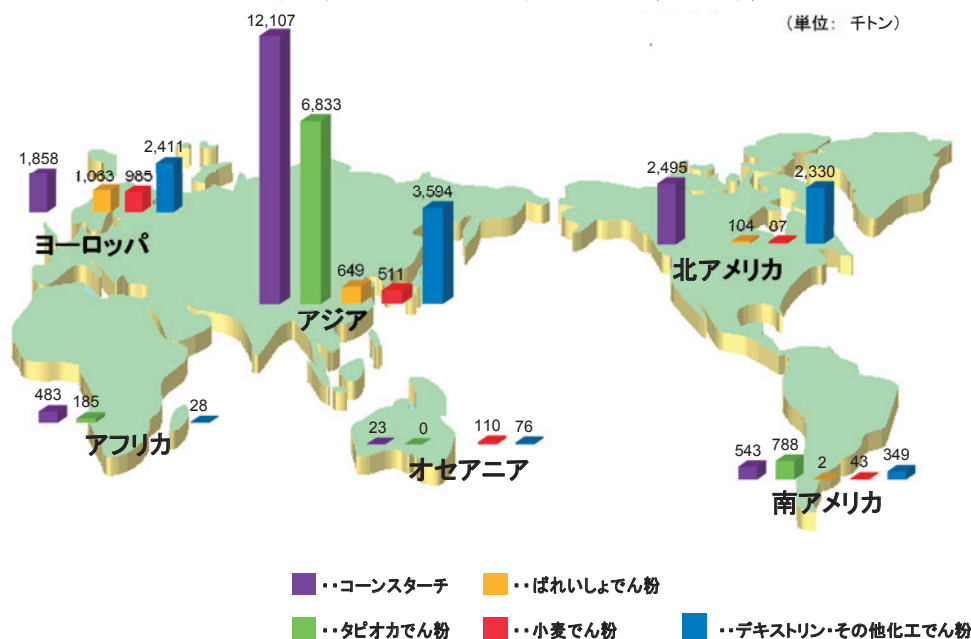


## 1. 世界のでん粉需給

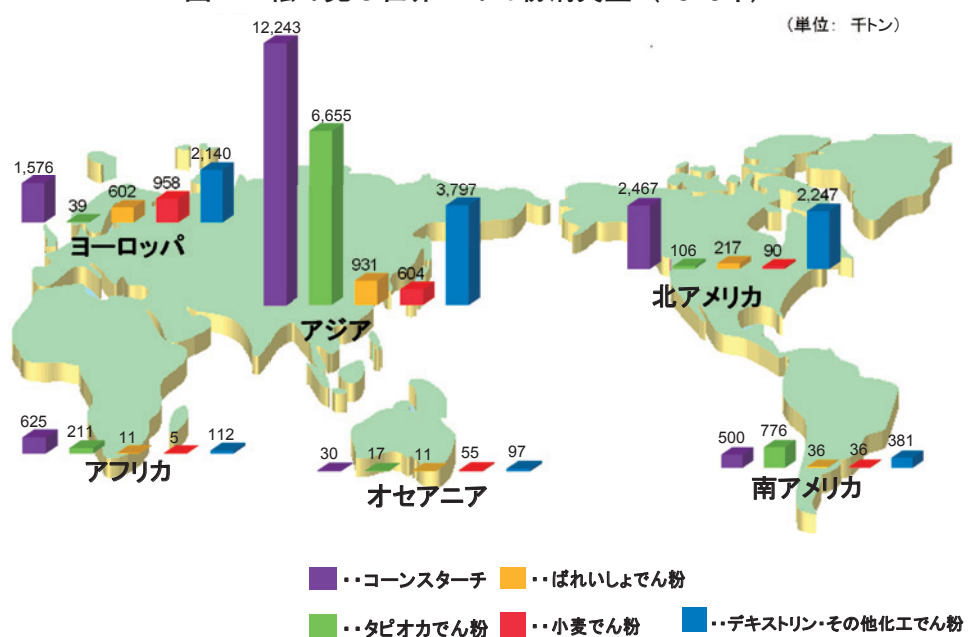
図1 絵で見る世界のでん粉生産量 (2016年)



資料: LMC International ※「Global Market for Native & Modified Starches 2017」を基に機構作成  
 (\*農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)

注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量 (2016年)



資料: LMC International 「Global Market for Native & Modified Starches 2017」を基に機構作成

注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 トウモロコシ相場、タピオカ市価

年・月	シカゴトウモロコシ・期近 (セント/BU)			タイタピオカ (パーツ/kg)	
	高 値	安 値	平均値	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2013年	741.25	412.00	579.77	2.13	6.61
2014年	515.75	320.75	415.91	2.10	6.76
2015年	433.50	347.75	376.57	2.16	6.78
2016年	437.75	301.50	358.36	1.52	5.66
2017年	392.25	329.50	359.29	1.40	5.14
2017年6月	387.75	356.75	372.28	1.15	4.75
7	392.25	361.00	377.60	1.17	4.87
8	372.25	329.50	353.12	1.20	4.96
9	355.25	338.50	347.95	1.30	5.11
10	352.75	344.50	349.39	1.41	5.46
11	350.50	336.25	343.18	1.67	5.71
12	353.75	335.75	344.55	1.95	6.23
2018年1月	361.50	346.25	352.73	2.01	6.31
2	374.50	358.75	365.92	2.12	6.37
3	387.75	373.50	379.61	2.36	7.09
4	392.50	376.50	385.49	2.51	7.24
5	408.50	389.00	398.23	2.55	7.21
6	391.50	345.00	364.87		7.21

資料：CME Group、タイ農業協同組合省、タイ商務省  
 注1：チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したものの。  
 注2：1ブッシェル（BU）は25.401キログラム。  
 （シカゴトウモロコシ相場の直近のデータは、当機構ホームページの「海外情報」に掲載しています。）  
<https://www.alic.go.jp/international/index.html>

## 2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2018年6月末日TTS相場の値であり、1米ドル=112円（111.54円）、1タイ・パーツ=3.41円、1ベトナム・ドン=0.005円、1ユーロ=129円（129.41円）である。

# トウモロコシ・コーンスターチ

## 米 国

### 【需給動向：トウモロコシ】

#### 総消費量が上方修正

2018年7月時点の米国農務省（USDA）による2018/19穀物年度（9月～翌8月）のトウモロコシ需給予測によると、生産関連の数値は、作付面積

が上方修正された。一方、消費関連の数値は、国内消費量のうち、エタノール向けを含む食品・種子・その他工業向けが下方修正されたものの、飼料など向けがそれを上回って上方修正されたため、総消費量も147億5500万ブッシェル（3億7479万トン、前年度比1.0%減）に上方修正された（表2）。

## 【価格動向：トウモロコシ】

### 生産者平均販売価格は上値、下値ともに下方修正

同じく2018/19穀物年度のトウモロコシの生産者平均販売価格は、1ブッシェル当たり3.30～

4.30米ドル（370円～482円）と予測されており、上値および下値ともに前月から下方修正された。これは、総消費量の修正を上回って総供給量が上方修正されたことが影響していると考えられる。

表2 米国のトウモロコシの需給見通し

区分	一単位	2016/17年度	2017/18年度 (推測値)	2018/19年度		
				(6月予測)	(7月予測)	前年度比 (増減率)
作付面積	(百万エーカー)	94.0	90.2	88.0	89.1	▲1.2%
収穫面積	(百万エーカー)	86.7	82.7	80.7	81.8	▲1.1%
単収	(ブッシェル/エーカー)	174.6	176.6	174.0	174.0	▲1.5%
国内生産量	(百万ブッシェル)	15,148	14,604	14,040	14,230	▲2.6%
輸入量	(百万ブッシェル)	57	40	50	50	25.0%
期首在庫	(百万ブッシェル)	1,737	2,293	2,102	2,027	▲11.6%
総供給量	(百万ブッシェル)	16,942	16,937	16,192	16,307	▲3.7%
国内消費量	(百万ブッシェル)	12,355	12,510	12,515	12,530	0.2%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,470	5,450	5,350	5,425	▲0.5%
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	6,885	7,060	7,165	7,105	0.6%
エタノール向け	(百万ブッシェル)	5,432	5,600	5,675	5,625	0.4%
輸出货量	(百万ブッシェル)	2,294	2,400	2,100	2,225	▲7.3%
総消費量	(百万ブッシェル)	14,649	14,910	14,615	14,755	▲1.0%
期末在庫	(百万ブッシェル)	2,293	2,027	1,577	1,552	▲23.4%
期末在庫率	(%)	15.7	13.6	10.8	10.5	▲22.6%
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.36	3.30-3.50	3.40-4.40	3.30-4.30	0.0-22.9%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注1：年度は、9月～翌8月。

注2：1エーカーは0.4047ヘクタール、1ブッシェルは25.401キログラム。

## 【貿易動向：トウモロコシ】

### 5月の輸出货量は前年同月から大幅に増加

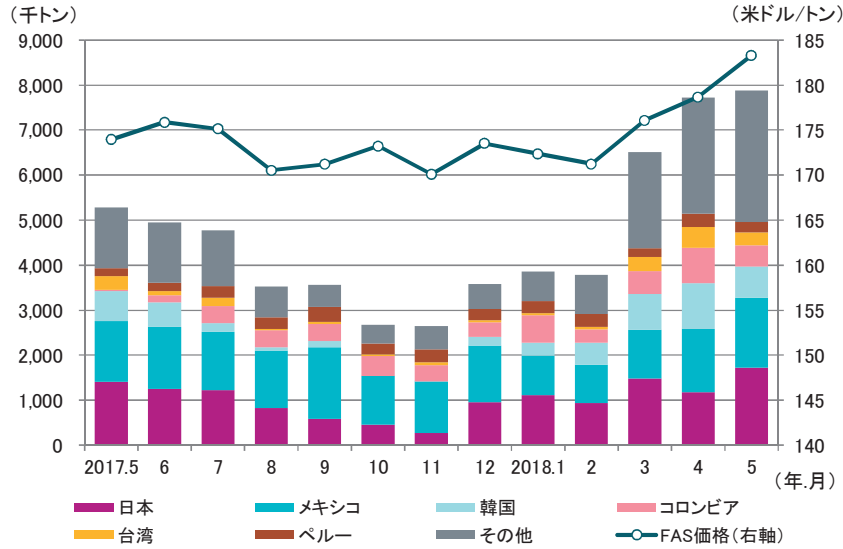
2018年5月のトウモロコシ輸出货量は、788万3080トン（前年同月比49.3%増、前月比2.0%増）と前年同月を大幅に、また前月をわずかに上回った（図3）。同月の主要国別輸出货量は、表3の通りである。

また、同月の輸出価格（FAS<sup>(注)</sup>）は、1トン当

たり183.28米ドル（2万527円、前年同月比5.4%高、前月比2.6%高）と前年同月をやや、また前月をわずかに上回った。

（注）Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる価格。FOB価格と異なり、横持ち料（倉庫間の移動費）、積み込み料などは含まれない。

図3 米国のトウモロコシ輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード100590

表3 米国のトウモロコシ輸出量（5月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	7,883,080	49.3	2.0
うち 日本	1,721,232	22.3	46.3
メキシコ	1,552,985	14.6	10.5
韓国	694,815	4.3	▲32.0
コロンビア	465,512	22.6倍	▲40.9

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード100590

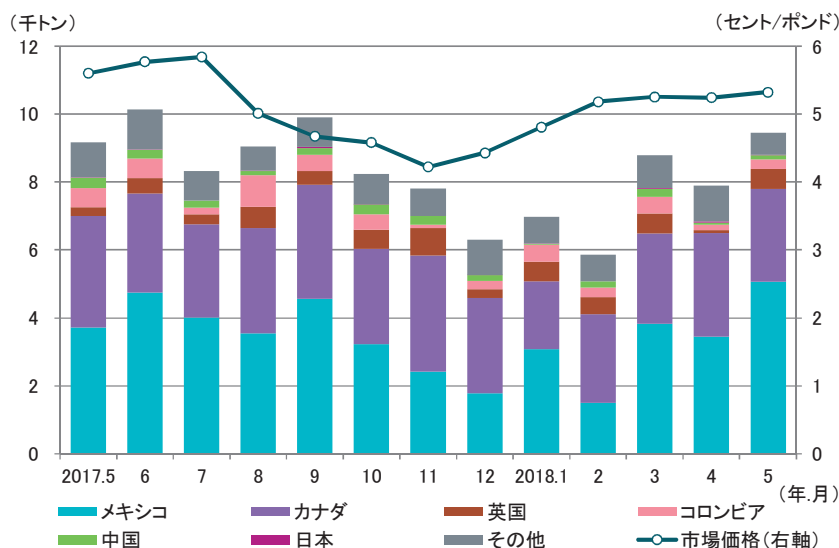
**【貿易および価格動向：コーンスターチ】**  
**5月の輸出量は前年同月および前月から増加**

2018年5月のコーンスターチ輸出量は、9452トン（前年同月比3.1%増、前月比19.9%増）と前年同月および前月の水準をともに上回った（図4）。同月の主要国別輸出量は、表4の通りである。

また、同月の中西部市場のコーンスターチ市場価格は、1ポンド<sup>(注)</sup>当たり5.32セント（6.0円、前年同月比5.0%安、前月比1.5%高）と前年同月をやや下回ったが、前月をわずかに上回った。

（注）1ポンドは0.45キログラム。

図4 米国のコーンスターチ輸出量および市場価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、USDA/ERS

注1：HSコード110812

注2：価格は米国中西部市場における製粉業者の純費用（Net Cost）。

なお、純費用については、トウモロコシ1ブッシェル当たり平均31.5ポンド（1キログラム当たり約0.56キログラム）のでん粉が含まれているものとして、計算されている。

表4 米国のコーンスターチ輸出量（5月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	9,452	3.1	19.9
うち メキシコ	5,061	36.4	47.2
カナダ	2,725	▲17.1	▲10.9
英国	596	131.0	554.9
コロンビア	287	▲48.5	93.9
中国	120	▲62.1	60.0
日本	20	100.0	5.3

資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード110812

## タピオカでん粉

### タイ

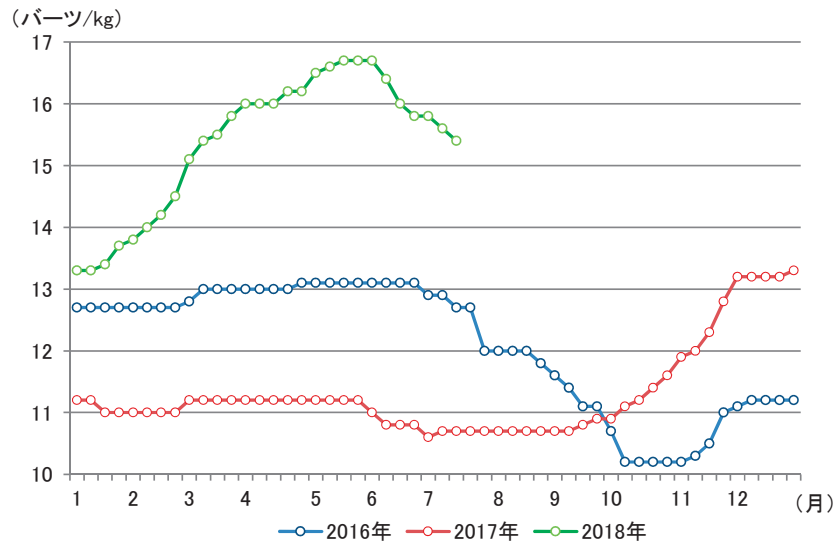
#### 【価格動向】

タピオカでん粉国内価格は前年同月から大幅上昇も前週からわずかに下落

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、

2018年7月第2週のタピオカでん粉の国内価格は、1キログラム当たり15.4バーツ（52.5円、前年同期比43.9%高、前週比1.3%安）と、前年同月を大幅に上回ったものの、2週連続で前週を下回った（図5）。

図5 タイのタピオカでん粉国内価格の推移



資料：TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」  
注：当該週の特定期の価格。

【貿易動向】

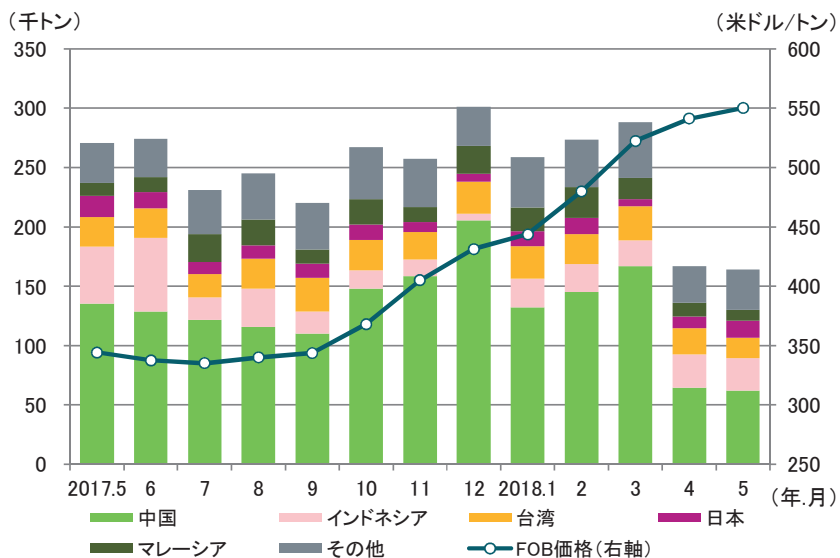
5月の輸出量は前年同月から大幅に減少

2018年5月のタピオカでん粉輸出量は、16万4219トン（前年同月比39.3%減、前月比1.6%減）と前年同月からは大幅に、また前月からわずかに下回った（図6）。同月の主要国別輸出量は、表5の

通りである。

また、同月の輸出価格（FOB・バンコク）は、1トン当たり550米ドル（6万1600円、前年同月比59.9%高、前月比1.6%高）と前年同月比で大幅高となっており、前月比でも上昇した（図6）。

図6 タイのタピオカでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」  
注：HSコード110814

表5 タイのタピオカでん粉輸出量（5月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	164,219	▲39.3	▲1.6
うち 中国	61,864	▲54.2	▲4.3
インドネシア	27,450	▲42.9	▲0.4
台湾	17,509	▲30.1	▲21.3
日本	13,761	▲22.8	37.6
マレーシア	9,384	▲14.2	▲17.7

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード110814

## ベトナム

### 【生産動向】

#### 4月の作付面積は前年同月からかなり減少

ベトナムの調査会社AgroMonitorによると、農業農村開発省（MARD）の統計では2018年4月15日時点で、キャッサバが作付けされている面積は、15万8359ヘクタール（前年同月比7.4%減）と前年同月の水準をかなりの程度下回った（表6）。特に、主産地のタイニン省（南東地域）では、前年同月比2.2%増の3万3600ヘクタールとなったものの、南東地域全体では同22.9%減、メコン河デルタ地域では同55.2%減と大幅に落ち込んだ。一方、中央高原地域では同11.8%増となった。なお、前月同様、干ばつにより地面が固く、収穫が進んでいないため、新規の作付けも遅れている。

ただし、AgroMonitorが実施した全国のキャッサバの処理業者や生産者への調査によると、実際の新規作付面積は、全国的にMARDによる統計情報よりも広いとみられる。特に、タイニン省の作付面

積は前年同期比10～15%増、中央高原地域では30%増に上るとされる。

また、業者によると、2018/19年度（8月～翌7月）のカンボジアのベトナム国境付近の新規作付面積は、キャッサバやタピオカでん粉の価格高騰を受け、前年同期比80%増となる可能性がある。なお、カンボジアからのキャッサバ苗木に対する需要が高まり、苗木の価格が高騰している。4月時点で、タイニン省のキャッサバの苗木価格は、前年の1株当たり8000～1万2000ドン（40～60円）から4月時点で同6万ドン（300円）となった。

4月のキャッサバの供給動向を見ると、タイニン省では、先述の通り、干ばつの影響で収穫が困難なため、でん粉工場は主にカンボジアからの輸入に依存している。しかし、同月はカンボジア最大の祭りが2週間続き、かつ収穫期がほぼ終わりにあることから、カンボジアからのキャッサバの供給は低調であった。多くのでん粉工場では、次のキャッサバの収穫期（7～8月）まで原料の調達が難しい状況にある。

表6 ベトナムのキャッサバ作付面積

(単位：ヘクタール)

		2017年4月	2018年4月	前年同月比 (増減率、%)
北 部	紅河デルタ地域 (Red River Delta)	2,788	2,527	▲ 9.4
	北部内陸山岳地域 (Northern Midland and Mountainous Region)	28,709	26,320	▲ 8.3
	北部中央地域 (North Central Region)	50,174	49,446	▲ 1.5
	小 計	81,671	78,293	▲ 4.1
南 部	南部沿岸地域 (South Central Coastal Region)	40,102	40,346	0.6
	中央高原地域 (Central Highlands)	7,488	8,369	11.8
	南東地域 (Southeastern Region)	39,222	30,249	▲ 22.9
	メコン河デルタ地域 (Mekong River Delta)	2,462	1,102	▲ 55.2
	小 計	89,274	80,066	▲ 10.3
合 計		170,945	158,359	▲ 7.4

資料：AgroMonitor「CASSAVA & STARCH MONTHLY REPORT-June 2018」

注1：原資料はベトナム農業農村開発省。

注2：2018年4月15日時点の推定値。

注3：北部では、例年2～5月に植え付けられ、同年9月ごろから収穫が始まる。

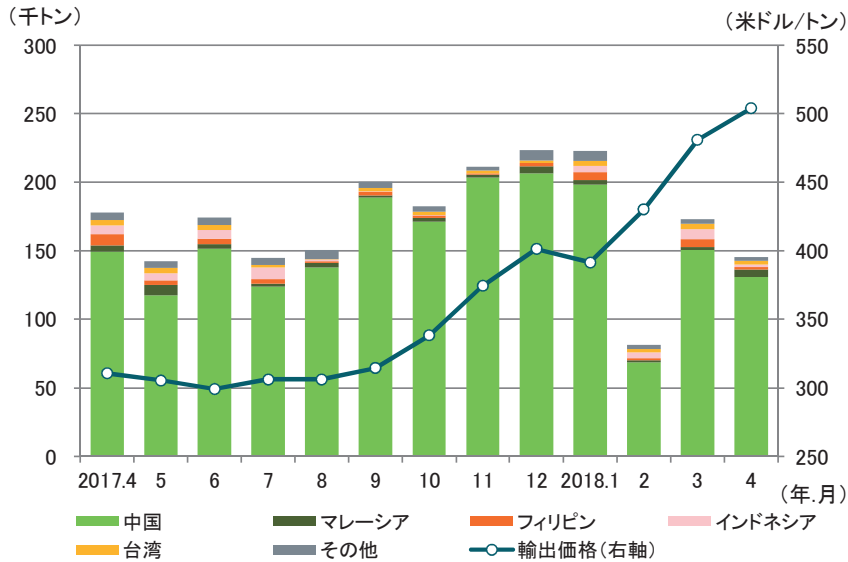
注4：四捨五入の関係から、合計と内数は必ずしも一致しない。

【貿易動向】

4月の輸出量は前月から減少

AgroMonitorによると、2018年4月のタピオカでん粉輸出量は、14万5493トン（前年同月比18.1%減、前月比15.9%減）と、前月に引き続き前年同月の水準を大幅に下回った（図7）。これは、キャッサバ供給量の低下により、タピオカでん粉の国内価格と輸出価格が高騰したことで、主要な輸出先である中国をはじめインドネシア、フィリピン、台湾からの需要が減少したためである。

図7 ベトナムのタピオカでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成

注1：HSコード110814

注2：価格は、中国向け輸出のCFR (Cost and Freightの略。輸入港までの海上運賃が売主の負担となり、危険負担は本船に船積みしたときに終了する契約条件) 平均価格。



# ばれいしょでん粉

## E U

### 【貿易動向】

#### 4月の輸出量は前年同月から大幅に減少

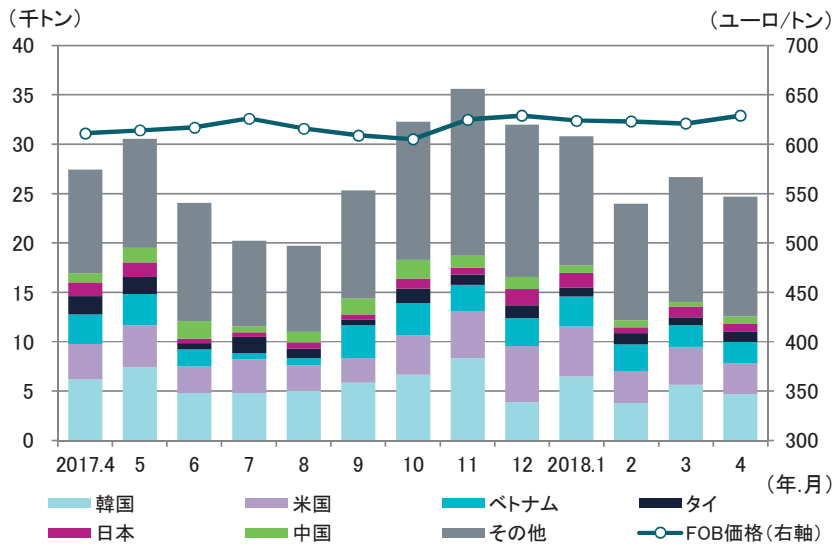
2018年4月のばれいしょでん粉輸出量<sup>(注)</sup>は、2万4681トン（前年同月比36.6%減、前月比7.4%減）と前年同月の水準を大幅に下回った（図8）。

同月の主要国別輸出量は、表7の通りである。

また、同月の輸出価格（FOB）は、1トン当たり629ユーロ（8万1141円、前年同月比2.9%高、前月比1.3%高）と前年同月および前月の水準をわずかに上回った。

（注）輸出先の不明なものを除く。

図8 EUのばれいしょでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード110813

注2：輸出先の不明なものを除く。

表7 EUのばれいしょでん粉輸出量（4月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (%)	前月比 (%)
合計	24,681	▲36.6	▲7.4
うち 韓国	4,658	▲24.6	▲17.4
米国	3,175	▲12.1	▲17.2
ベトナム	2,160	▲27.2	▲1.7
日本	784	▲42.8	▲30.9

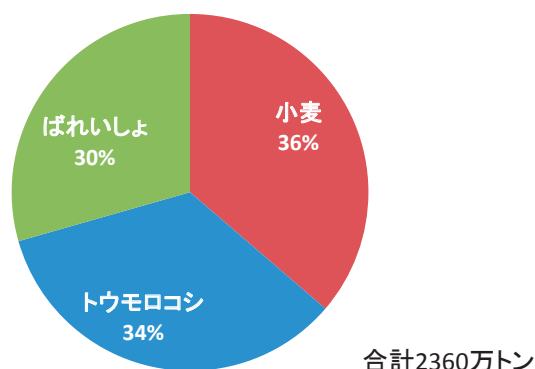
資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード110813

## コラム EUのでん粉の生産・消費動向

EUにおけるでん粉の95%超は、業界団体であるStarch Europeに加盟する26のでん粉製造業者により生産されている。このStarch Europeの統計によると、EU28カ国のうち、20カ国に加盟業者の74のでん粉製造設備があり、主に小麦やトウモロコシ、ばれいしょを原料として、でん粉が生産されている。2016年には、これらの製造業者により、原料約2360万トンから約1070万トンのでん粉が生産された。でん粉生産量は緩やかに増加傾向にあり、2004年の生産量870万トンと比べると、12年で生産量が23%増となった。

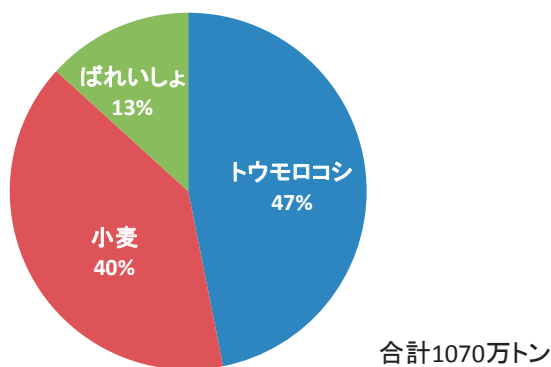
図1 EUにおけるでん粉として加工された原料の種類別内訳（2016年）



資料：Starch Europe

注：端数処理の関係から、合計数と文章中の内訳とは必ずしも一致しない。

図2 EUのでん粉生産量の原料別内訳（2016年）



資料：Starch Europe

EUにおけるでん粉（化工でん粉を含む）の消費量（でん粉の副産物500万トンを除く）はここ8年間ほぼ一定であるが、2016年は930万トンで、うち61%が食品向け、38%が製紙などの非食品用途向け、1%が飼料向けとなっている。また、この930万トンのうち、55%は糖化製品、26%が天然でん粉、19%が化工でん粉である。

図3 EUのでん粉消費量の用途別内訳（2016年）

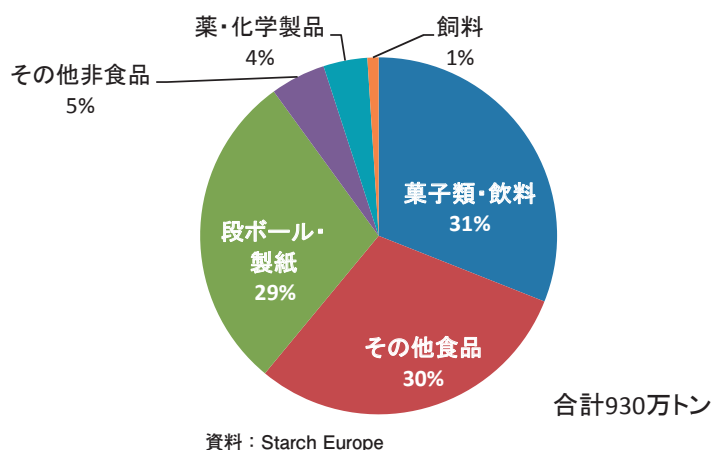
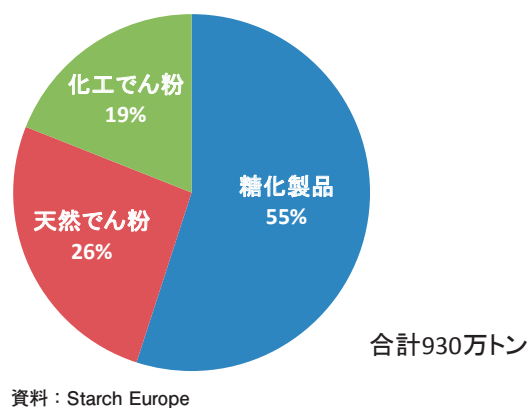


図4 EUのでん粉消費量の種類別内訳（2016年）



## 化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要輸出国の、主要仕向け先国別輸出量および輸出価格は以下の通り。

### タイ

#### 【貿易動向】

#### 5月の輸出量は前年同月および前月から減少

2018年5月の化工でん粉の輸出量は、8万

2491トン（前年同月比9.8%減、前月比4.9%減）と前年同月からはかなりの程度、前年同月からはやや減少となった（図9）。同月の主要国別輸出量は、表8の通りである。

図9 タイの化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移

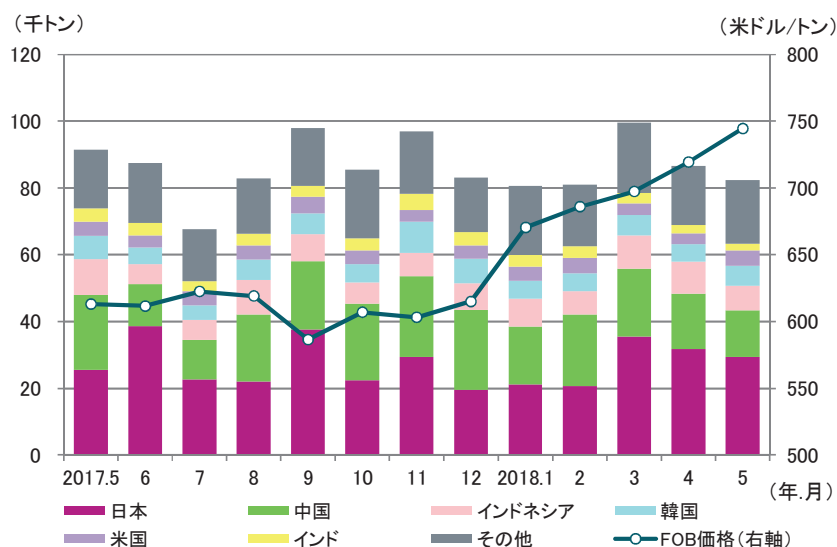


表8 タイの化工でん粉輸出量（5月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	82,491	▲9.8	▲4.9
うち 日本	29,377	14.7	▲7.6
中国	13,912	▲37.5	▲16.1
インドネシア	7,282	▲32.7	▲23.4
韓国	6,169	▲12.3	16.6

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

## 米 国

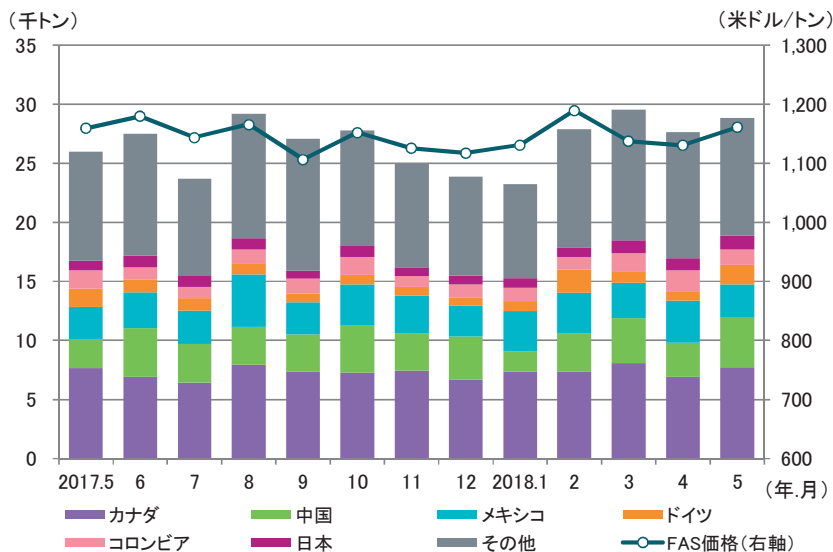
### 【貿易動向】

#### 5月の輸出量は前年同月および前月から増加

2018年5月の化工でん粉の輸出量は、2万

8849トン（前年同月比11.1%増、前月比4.4%増）と前年同月の水準からかなりの程度増加し、前月の水準もやや上回った（図10）。同月の主要国別輸出量は、表9の通りである。

図10 米国の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

表9 米国の化工でん粉輸出量（5月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	28,849	11.1	4.4
うち カナダ	7,739	1.4	11.5
中国	4,197	67.0	47.4
メキシコ	2,804	2.9	▲21.2
コロンビア	1,292	▲17.7	▲28.9
日本	1,164	47.0	17.6

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

## 中国

### 【貿易動向（注）】

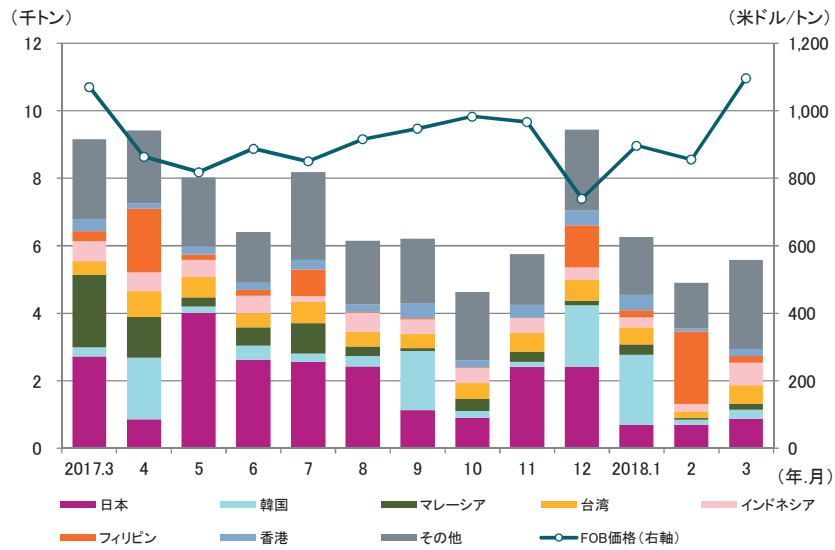
**3月の輸出量は前年同月から大幅減も前月からはかなり増加**

2018年3月の化工でん粉の輸出量は、5581トン（前年同月比39.0%減、前月比13.8%増）と前

年同月の水準を大幅に下回ったが、前月からはかなり増加した（図11）。同月の主要国別輸出量は、表10の通りである。

（注）直近の情報を入手できなかったため、前月号の内容を再掲載する。

図11 中国の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

表10 中国の化工でん粉輸出量（3月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	5,581	▲39.0	13.8
うち 日本	875	▲67.9	24.3
インドネシア	667	13.2	188.7
台湾	555	37.7	186.1
韓国	271	1.5	86.9

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

## E U

### 【貿易動向】

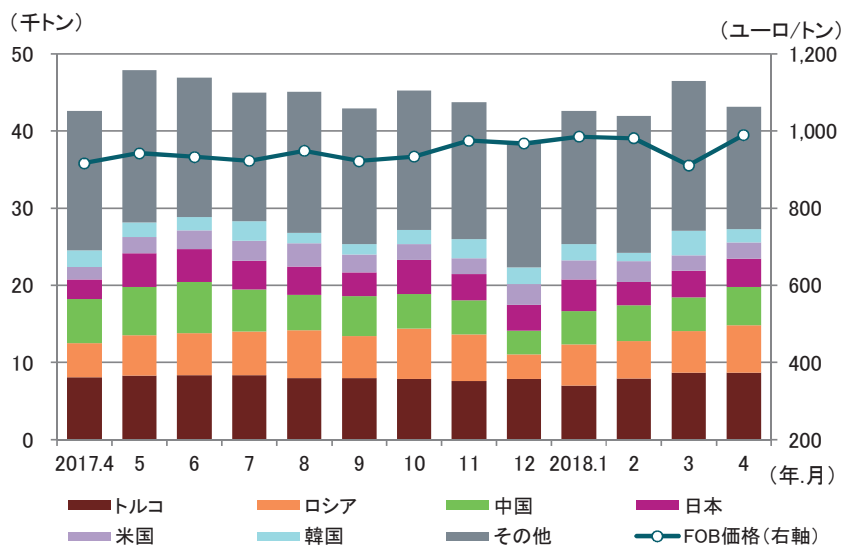
#### 4月の輸出量は前月からかなり減少

2018年4月の化工でん粉の輸出量<sup>(注)</sup>は、4万3142トン（前年同月比4.1%減、前月比7.1%減）

と前年同月の水準をやや、また前月からはかなりの程度下回った（図12）。同月の主要国別輸出量は、表11の通りである。

（注）輸出先の不明なものを除く。

図12 EUの化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード350510

注2：輸出先の不明なものを除く。

表11 EUの化工でん粉輸出量（4月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	43,142	▲4.1	▲7.1
うち トルコ	8,686	7.9	0.1
ロシア	6,135	38.4	13.7
中国	4,964	▲12.9	14.6
日本	3,678	43.7	6.8

資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード350510

## 豪州

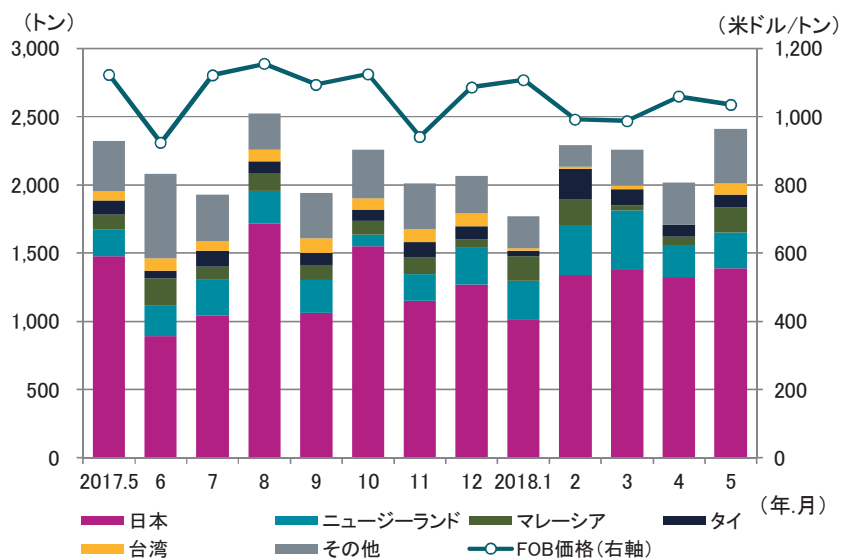
### 【貿易動向】

#### 5月の輸出量は前月から大幅に増加

2018年5月の化工でん粉の輸出量は、2412ト

ン（前年同月比3.9%増、前月比19.5%増）と前年同月の水準をやや上回り、前月からは大幅に増加した（図13）。同月の主要国別輸出量は、表12の通りである。

図13 豪州の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード350510

表12 豪州の化工でん粉輸出量 (5月)

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (%)	前月比 (%)
合計	2,412	3.9	19.5
うち 日本	1,387	▲6.1	4.8
ニュージーランド	265	35.2	13.7

資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード350510